

停電時の使い方（自立運転への切り替え）

日中（太陽光発電中）に停電などで電力会社からの電力供給が停止すると、表示部に「E0」が表示されます。「E0」表示時に、自立運転に切り替えると、太陽光により発電された電力を停電用コンセント（本体側面および壁面）から使用することができます。

- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転への切り替えはできません。
- 停電時に備えて、日頃から自立運転を確認してください。

1 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オフ」にする



2 運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にする

- 運転スイッチの操作は 8 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- 自己診断のため、パワーコンディショナからカチッカチッカチッカと動作音がします。

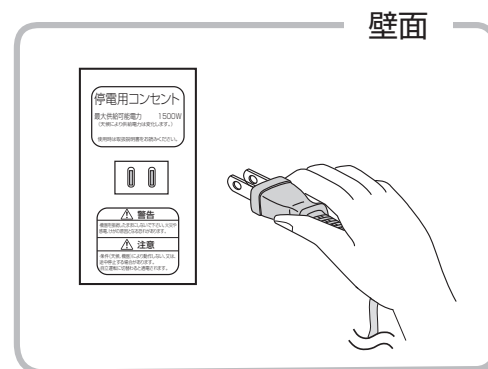
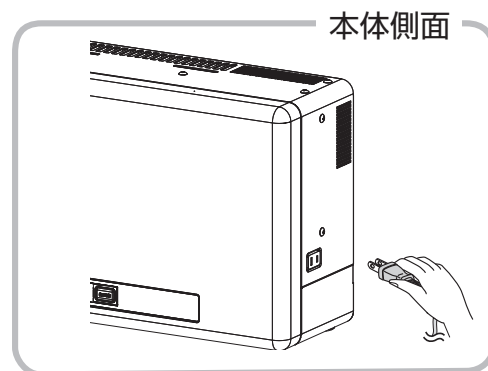
3 運転ランプと発電電力表示ランプ [kW] が点灯することを確認する



（1.24kW 分の負荷接続時のイラストです）

4 停電用コンセント（本体側面および壁面）に、使用したい機器を接続する

- 表示部には、現在の発電電力が表示されます。
- 突然停止しても安全性に問題がない機器を接続してください。（⇒ 4）
- 壁面に設置した停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 本体側面の停電用コンセントでは、接続する機器の消費電力は、1500VA 以下（AC100V で最大 15A 以下）になるようにしてください。
- 停電用コンセント（本体側面および壁面）の合計消費電力は、下記指定の電力以下になるようにしてください。
 - PVN-406 の場合：2000VA 以下（AC100V で最大 20A 以下）になるようにしてください。
 - PVN-553 の場合：2750VA 以下（AC100V で最大 27.5A 以下）になるようにしてください。



自立運転が停止してしまったら

パワーコンディショナは、天候の変化によって太陽電池の発電電力が低下したときや日の入り時に、自動的に自立運転を停止します。自立運転を再開させる場合は、太陽電池が発電を開始してから、運転スイッチをいったん「オフ」にし、再度「オン」にしてください。（⇒ 8）

- 表示部に「E0」が表示されていたら、太陽電池は発電を開始しています。
- 夜間など太陽電池が発電していないときは、パワーコンディショナのすべての表示およびランプが消灯し、自立運転を再開させることはできません。

- 自立運転を停止させるには、運転スイッチを「オフ」にしてください。再度「オン」にすると、自立運転を再開します。（⇒ 8）
- 掃除機や冷蔵庫など、電流が急激に流れる機器を使用すると、保護機能が働いてパワーコンディショナが停止することがあります。（エラーコード E9、E13 で停止します）

保護機能が働いて自立運転が停止した場合は、以下の手順で再開してください。

- ① 運転スイッチを「オフ」にする（⇒ 8）
- ② 停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器を減らす
- ③ 運転スイッチを再度「オン」にする（⇒ 8）

復電時の操作（連系運転への切り替え）

停電時に自立運転に切り替えた場合、復電後は連系運転に切り替える必要があります。

- 連系運転に切り替える際、停電用コンセント（本体側面および壁面）に接続している機器は外してください。
- 夜間に復電した場合は、手順2のみを行ってください。翌朝、連系運転モードで運転を開始します。

1 運転スイッチを「オフ」にする

- 運転スイッチの操作は 8 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- 表示部に「.」（ドット）が点灯します。

2 太陽光発電用ブレーカ（⇒ 6）を「オン」にする



3 運転スイッチを「オン」にする

- 運転スイッチの操作は 8 ページ「各部の名前と働き」をお読みください。
- カウントダウンが表示されている場合は、カウントダウン終了後に連系運転を開始します。

4 運転ランプ/連系ランプおよび発電電力表示ランプ[kW]が点灯することを確認する

- 現在の発電電力が表示されます。



（2.2kW 発電時のイラストです）